

さよなら、アベック眼鏡

荒田珈琲
新聞
Vol. 96
2025. 8. 16(土)

皆さんには「忘れられない夏の思い出」がありますか？ ヨメにはあります。

あれはそう、忘れもしない中2の夏休み。家族で千葉を旅行しました。

外房のきれいな海と高い波、広い空と犬吠埼の白い灯台、地球の丸く見える丘、金ヶ子電鉄のガタガタ揺れるトロロコ列車、ラムネのビー玉、帰りに寄ったどこかの古墳と佐倉の国立歴史民俗博物館等々。あべてぼんやりした記憶ですが楽しかった。だって実際にぼんやりしていたのです。何せ、目がよく見えなかったものだから…

千葉に着いた初日に海水浴をしていたらちょっとした事件が起きました。堤防に囲まれた海岸だったにもかかわらず、その日は潮の流れが早く、波が砂浜にあった母のサンダルを一瞬でさらっていったのです。「あッ！」とサンダルを掴もうと前かがみになったときです。「ポチャ、ポチャ、ポチャ」と音がして母のブラウスのポケットから眼鏡がろつ海に落ちました。「大変!!」慌てて濁った水を探したけれど沈んだ眼鏡は1つも見つかりませんでした。



その先も運転しなければならぬ父は旅先で急ぎょ眼鏡をあつらえ、ヨメは新学期までに作り直すことになり、母はしばらく眼鏡なしになりました。とんだ大出費となった悲劇の裏でヨメは密かに「もしかしてチャンス到来？」と胸を高鳴らせたのでした。幼い頃から強い近視で眼鏡をかけていたからいち早くコンタクトレンズをしている同級生が羨ましかったのです。そこで、

これを機にコンタクトにしたいと言うヨメと危ないからやめなさいと言う母と意見が割れました。

中2のヨメには年頃なりの悩みもあったのであ。夏休み前の教室で隣の席の眼鏡男子と話していたら、先生に「そのアベック眼鏡!」とからかわれてクラス中に笑われたときの恥づかしさたるや。少なからずコンプレックスだった分厚い眼鏡の見た目をいじる笑いは面白くなく、周りからしばらくアベック眼鏡扱いされる羽目になったのも嫌ではありませんでした。そんな事情は知らない母を説得できないまま眼科へ行って、検査の暗室でもう無理かと諦めかけたとき、最後の最後になって母が「娘がコンタクトレンズにしたいと言っているのだから…」と口を開きました。おお、母よ…余計な出費が増えて

申し訳ないけれど、願いを聞いてくれてありがとう!

日焼けした面々が集う新学期、「イケメンしたね」と言われるのはまんざらでもなく、やはり嬉しい思えるのでした。忘れられない夏の思い出は、何も見えずにぼんやりした家族旅行と、積年の呪いが解けたかのような清々した記憶です。アベック眼鏡よ、さようなら(泣) アデュ〜

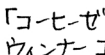


ミニチュア地球儀キーホルダー
友人に買った反応は微々か…
洪きだしたか…。小さいけれど
本物の焼き物でした。

好評♡ 季節のスイーツたち



甘酸っぱさがグセになる
「レモンのアイシングケーキ」が
今年も登場!



「コーゼーゼリー」は食べる
ウィンナーコーゼーみた!



深煎りブレンドを
なめらかに食感のゼリーにしま
した。「ブルーベリーとポピー
シードのケーキ」は大粒ブルーベリーを
ふんだんに使用! ポピーシード(けしの実)の
チチチ食感も楽しい素朴なおいさ★

